Honda Access

このたびは、Honda純正用品を
お買い上げいただき、ありがとうございます。
この取扱説明書は、
ご使用まえによくお読みいただき
大切に保管してください。

- 当商品はHonda車専用です。商品の適用車種は販売店にご相談ください。適用車種以外の車に取り付けた場合、一切の責任は負えませんのでご承知おきください。
- Honda車への取り付け・配線には専門技術と経験が必要です。安全のためお買い上げの販売店にご依頼ください。
- 商品を譲られる場合には、この取扱説明書も一緒にお渡しください。

本機（ナビゲーション）を第三者に譲渡・転売、または破棄される場合には以下の内容をご留意の上、お客様自身の適切な管理のもとに対処いただきたく、お願い申し上げます。

■お客様のプライバシー保護のために…

・メモリーに保存された個人情報を含む全てのデータ（登録リスト、メンテナンス情報など）を、本書に記載した内容にしたがって初期化（データの消去）するようにしてください。

■著作権保護のために…

・本機に著作権があるデータを著作権者の同意なく、残存させたまま、譲渡（有償、及び無償）・転売いたしますと著作権法上、著作権者の権利を侵害します。

※弊社は、残存データの漏洩によるお客様の損害等に関しては一切責任を負いかねますので、上記の通りお客様自身の適切な管理のもとに対処いただきたく、重ねてお願い申し上げます。
個人情報保護に関する弊社基本方針、及びナビゲーション地図に登録されております個人データのお取り扱いにつきましては下記アドレスのホームページをご覧ください。

http://www.honda.co.jp/ACCESS/

保証書やアフターサービスの詳細、その他のご不明な点は
お買い求めの販売店へご相談ください。

事故防止のため、運転中は絶対に操作しないでください。

安全上のご注意(1)

●安全に関する表示
「運転者や他の人が傷害を受ける可能性のあること」を回避方法と共に、下記の表示で記載しています。これらは重要ですので、しっかりお読みください。

注意事項は、それを守らなかった場合に起こりうる危害や損害の程度によって、3つに区分しています。

⚠危険	指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至るもの
⚠警告	指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があるもの
⚠注意	指示に従わないと傷害を受ける可能性があるもの

また、注意内容の性質を絵表示で示しています。

⚠：△は注意を促す記号です。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は一般的な注意)が描いてあります。

：⃠は行為を禁止する記号です。図の中に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描いてあるものもあります。

：●は行為を指示する記号です。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は一般的な指示)が描いてあります。

⚠ 危 険

内蔵電池について

内蔵電池を充電するときは、車内または別売のAC-DC変換アダプターを使用する。
他の電源／充電器を使用されますと内蔵電池の液もれ、発熱、破裂により、火災・けがや周囲を汚損させる原因となります。

内蔵電池は本機専用の電池なので、他の機器では使用しない。
内蔵電池の液もれ、発熱、破裂により、火災・けがや周囲を汚損させる原因となります。

火の中に投入したり、加熱したりしない。
内蔵電池の液もれ、発熱、破裂により、火災・けがや周囲を汚損させる原因となります。

内蔵電池の液が目に入った場合は、失明の恐れがあるので、こすらずに、すぐにきれいな水で充分洗った後、直ちに医師の治療を受ける。

火のそばや、炎天下などでの充電はしない。
内蔵電池の液もれ、発熱、破裂により、火災・けがや周囲を汚損させる原因となります。

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしない。
内蔵電池の液もれ、発熱、破裂により、火災・けがや周囲を汚損させる原因となります。

分解禁止

分解、改造、ハンダ付けしない。
発熱、破壊により、火災・けがや周囲を汚損させる原因となります。

安全上のご注意(2)

⚠ 警 告

本機について

ワンセグ放送やワンセグ録画などを見たり、ナビゲーションの操作をするときに、車庫や屋内などの換気の悪いところでエンジンをかけたままにしないでください。
車内や屋内などに排気ガスが充満し、一酸化炭素中毒のおそれがあります。

実際の交通規則に従って走行してください。
ナビゲーションによるルート計算は、道路の状況やナビゲーションシステムの精度により不適切な案内をすることがあります。
必ず実際の交通規則、道路標識に従って走行してください。

当商品を分解したり改造しないでください。
故障の原因となることがあります。

分解禁止

本機を船舶、航空機などの主航法装置として、あるいは、登山用地図としては使用しない。
測定誤差が生じたり、電池残量が少なくると地図が見られなくなったりするため、事故の原因となります。また、塩害などにより、火災・感電の原因となります。

指定(右記)以外の電源では使用しない。
本機は12V車専用です。
24Vの車(トラック、バス、寒冷地仕様のディーゼル車など)では使用しない。
24V車で使用すると火災や感電の原因となります。

12V車
別売のAC-DC変換アダプター
内蔵電池

指定(右記)以外の電源は使用しない。
電源は改造しない。
火災や感電、故障の原因となります。

電源のコードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にしない。
電源の電流容量がオーバーし、火災や感電、故障の原因となります。

歩行中は本機の操作をしたり画面を見ない。
必ず安全な場所に立ち止まって、ご使用ください。
交通事故やけがの原因となります。

⚠警告

運転者は運転中に画像を注視しない。
前方不注意となり交通事故の原因となります。

運転者がワンセグ等を見る場合は、必ず安全な場所に車を停車し、パーキングブレーキ(サイドブレーキ)をかけて使用する。
ワンセグは安全のため走行中は表示されません。また、交通事故の原因となります。

運転中、歩行中はヘッドホン／イヤホンは使用しない。
事故の原因となります。

万一、異物が入った・水や飲みものがかかった・煙が出る・変なにおいがするなど異常が起こりましたら、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。
そのままご使用になると思わぬ事故・火災・感電の原因となります。

SDカードは、乳幼児の手の届くところに置かない。
あやまって、飲み込む恐れがあります。万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

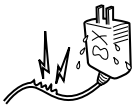
接触禁止

雷が鳴りだしたら、アンテナや電源プラグには触らない。
ただし、遠くで雷が鳴りはじめたときは、落雷を避けるため、直ちに別売のAC-DC変換アダプターをコンセントから抜く。(屋外で使用中の場合は、直ちにアンテナをしまって、使用を中止する。)
火災や感電の原因となります。

タコ足配線はしない。
火災や過熱の原因となります。

別売のAC-DC変換アダプターの刃に、ほこりが付着していないか確認し、根元まで確実に差し込む。
ほこりが付着したり、金属などが触れると火災や感電の原因となります。

別売のAC-DC変換アダプターのコードを傷つけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っぱったり、コードの上に重いものをのせたりしない。
万一、コードが傷んだ場合は(芯線の露出、断線など)、販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。



安全上のご注意(3)

⚠ 警 告

内蔵電池について

水や海水につけたり、ぬらしたりしない。
内蔵電池の発熱やサビにより、火災の原因となります。

液もれ、異臭、変色、変形など今までと異なることに気づいたときは使用しない。
内蔵電池の発熱や破裂により、火災やけがの原因となります。

内蔵電池の液が皮ふや衣服についた場合は、皮ふに障害をおこす恐れがあるので、すぐにきれいな水で洗い流す。
皮膚の炎症などの原因となることがあります。
- 万一口に入った場合は、すぐにうがいをして医師に相談してください。
- 目に入ったり皮膚に付着した場合は、清浄な水で充分洗浄した後、医師に相談してください。

加熱用機器(電子レンジなど)や高圧容器に入れたりしない。
内蔵電池の液もれ、発熱、破裂により、火災・けがや周囲を汚損させる原因となります。

⚠ 注 意

本機について

安全のため運転者は、走行中に操作しないでください。
また、走行中に画面を見るときは、必要最小限にしてください。
前方不注意などにより、思わぬ事故につながるおそれがあります。

運転者がワンセグや録画番組を見るときは、必ず安全な場所に車を停車して使用してください。
ワンセグや録画番組は安全のため走行中は表示されません。

エンジンを停止したままで長時間ご使用にならないでください。
車のバッテリーがあがる恐れがあります。

運転中の音量は車外の音が聞こえる程度でご使用ください。
車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。

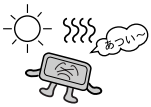
運転者は走行中に地点登録などの操作をしないでください。
前方不注意となり事故の原因になりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行なってください。

液晶パネルを強く押したり、強い衝撃を与えない。
液晶パネルのガラスが割れて、けがの原因となることがあります。

液晶パネルが割れた場合は、パネル内部の液体には絶対に触れない。
皮膚の炎症などの原因となることがあります。
- 万一口に入った場合は、すぐにうがいをして医師に相談してください。
- 目に入ったり皮膚に付着した場合は、清浄な水で充分洗浄した後、医師に相談してください。

⚠注 意

高温の場所（直射日光の当たる場所、炎天下の車内、火のそばなど）や低温の場所（寒い戸外など）に放置しない。
発熱、破裂により、火災・けがや周囲を汚損させる原因となることがあります。



長期間、使用しない場合には、クレイドル／車内から取り外して、湿気の少ない場所で保管する。
周囲を汚損させたり、火災の原因となることがあります。

直射日光が当たった場合などは、金属部分が高温になることがあります。
火傷をする可能性があります。

雨が吹き込むところなど、水のかかるところや湿気やほこりの多いところには置いたり、取り付けたりしない。
本機に水や湿気・ほこりが混入しますと発煙や発火、故障の原因となることがあります。

調理台や加湿器のそば等、油煙や湯気が当たるようなところに置かない。
火災や感電、故障の原因となることがあります。

本機の取り付け場所の変更時は安全のため必ずお買い上げの販売店へ依頼する。
取り外し、取り付けには専門技術が必要です。

SDカード挿入口や端子部に異物を入れない。
火災や感電、故障の原因となります。

ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かない。
落ちたり倒れたりすると、けがの原因となることがあります。

本機をふとんなどでおおった状態で使用しない。
火災の原因となることがあります。

安全上のご注意(4)

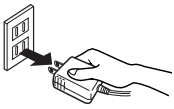
⚠ 注 意

本機について

小児が使用する場合は、保護者が取扱説明書の内容を教え、また、使用の途中においても、取扱説明書のとおりに使用しているかどうか注意する。
事故の原因となることがあります。

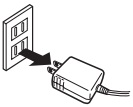
別売のAC-DC変換アダプターのコードを熱器具に近付けない。
コードの被覆が溶けて、火災や感電の原因となることがあります。

別売のAC-DC変換アダプターを抜くときは、必ずアダプター本体を持って抜く。
コードを引っぱると、コードが傷ついて火災や感電の原因となることがあります。



ぬれた手で別売のAC-DC変換アダプターの抜き差しをしない。
感電の原因となることがあります。

お手入れの際や長期間使わないときは、安全のため、別売のAC-DC変換アダプターを電源から抜く。
感電や火災の原因となることがあります。



別売のAC-DC変換アダプターの刃の部分を上にして放置しない。
踏むなどして、けがの原因となることがあります。

⚠注 意

内蔵電池について

強い衝撃を与えたり、投げつけたりしない。
内蔵電池の液もれ、発熱、破裂により、火災・けがや周囲を汚損させる原因となることがあります。

高温の場所（直射日光の当たる場所、炎天下の車内、火のそばなど）や低温の場所（寒い戸外など）に放置しない。
内蔵電池の液もれ、発熱、破裂により、火災・けがや周囲を汚損させる原因となることがあります。

内蔵電池の充電は必ず0～40℃の温度範囲で行なう。
内蔵電池の液もれ、発熱、破裂により、火災・けがや周囲を汚損させる原因となることがあります。

乳幼児の手の届かないところに保管する。また、使用中は乳幼児が機器から取り出さないよう注意する。
事故の原因となることがあります。

本機または内蔵電池を廃棄する場合、内蔵電池は取り外してリサイクルしてください。

使用上のご注意(1)

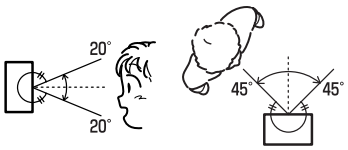
温度について

- 極端に寒いときや、極端に暑いときは、正常に動作しないことがあります。常温に戻ると正常に動作します。
- 長時間、車を屋外に駐車する場合、真夏や真冬は車内の温度が極度に変化していますので、換気したり暖房したりして車内を適温にしてご使用ください。
- 夏期は車内温度が高くなることがありますので、車内の温度を下げてからお使いください。
- 温度が+60度を超える場所で使用すると、液晶ディスプレイの故障を防ぐために、自動的に本機の電源が切れます。使用温度範囲(0度～+60度)に戻した後、電源を入れれば、再び通常の操作ができます。

使用中に発生する熱について

長時間ご使用になると本機が熱くなりますが、異常ではありません。

ディスプレイについて



- 直射日光が当たると、光が反射して画面が見づらくなりますので、直射日光をさえぎってください。
- ディスプレイは正面からが一番きれいに見えます。上20° 下20°、左45° 右45° の範囲でご覧ください。
- ディスプレイの同じ場所に、赤い点や青い点などが現われる場合がありますが、これは液晶ディスプレイの性質上起こるものであり、故障ではありません。
- 液晶パネル面にフィルムを貼り付けた場合、貼り付け不良、または、ずれがありますと正常に動作しないことががります。
- 高温の場所で使用する場合、内部照明装置(バックライト)は暗くなりますが、本体の温度が下がると元に戻ります。

地図画面の表示について

- 最も詳細な地図の縮尺が地域によって異なるため、地図画面を移動して縮尺の異なる地域にくると、地図が切れたような画面になることがあります。そのまま地図を移動しつづけると、走行画面では通常の地図画面に戻り、縮尺は表示中の地域の最も詳細なものに変わります。
- 走行中は、細街路を表示しません。
  ただし、下記の画面では、走行中も細街路を表示します。
  ・細街路を走行しているときの現在地表示画面
  ※細街路によっては、走行中も消えないものもあります。
  ※細街路とは道幅5.5m未満の道路のことをいいます。

車のエンジン停止中/アイドリング中でのご使用について(車のバッテリーで電源をとっている場合)

- エンジン停止中やアイドリング中に大きな音量で長時間ご使用になりますと、バッテリーが過放電となり、エンジンの始動ができなくなるおそれがあります。
- 本機をエンジン停止中に使用しているとき、エンジンを始動すると、電圧降下により、初期の画面に戻ることがあります。

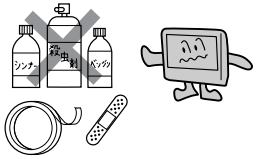
お手入れについて

＜ディスプレイ部の清掃＞

- 画面の汚れは、プラスチックレンズ用メガネふきなどの柔らかく乾いた布で軽く拭き取ってください。手で押したり、かたい布などでこすると表面に傷がつくことがあります。
- 画面は指紋やホコリが付きやすいので、時々清掃してください。
  清掃するときは、電源を切り乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。（汚れをおとす場合は、中性洗剤に浸しよく絞った布か、エタノールをしみ込ませた柔らかい布でふいてください。）
  ぬれたぞうきん・有機溶剤(ベンジン、シンナーなど)・酸・アルカリ類は使用しないでください。変質する原因となります。また硬いものでこすったり、たたいたりしないでください。

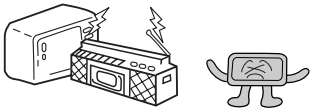
＜本機の清掃＞

- キャビネットやパネル面、その他の付属品にベンジン、シンナー、殺虫剤などの揮発性の薬品をかけると、ケースや塗装が変質しますので使用しないでください。またセロハンテープやばんそうこうなどの粘着性のものを貼ったりすることも、キャビネットを汚したり傷めますので避けてください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書にしたがってください。



受信妨害について

- 本機を、動作中の他の電気製品（テレビ、ラジオ、パソコンなど）の近くで使用しないでください。
  本機のテレビ放送（ワンセグ）やGPS衛星電波の受信状態が悪くなったり、他のテレビやラジオの受信状態が悪くなることがあります。



- 車内でご使用の電子機器（アマチュア無線機、レーダー探知機、ドライブレコーダー、ETC、本機以外のナビゲーションシステム等）の妨害、または一部の車種に使用されている断熱ガラス、熱遮断フィルム等により電波がさえぎられ受信感度が悪化したり受信しなくなることもあります。

設置場所について

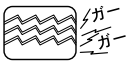
- ふとんやじゅうたん、カーペット、座布団など熱をにがしにくいものの上に置いて長時間使用しないでください。
  本機の内部に熱がこもり、故障する原因になります。
- ウレタン系シートやゴム系シート、ビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。
  キャビネットやパネル面の塗料がはげるなど、外観を損なう原因になります。

本機にゴルフバッグなどの重量物を乗せたり、ぶつけたりしないでください。
ケースが歪んで内部の機器が破損し、故障の原因となることがあります。

使用上のご注意(2)

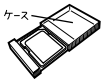
その他について

- 安全運転への配慮から、走行中に操作できない機能があります。走行中に表示されるメニューは、機能が制限されたものとなります。操作は、安全な場所に停車して行なってください。
- 停車して操作するときは、停車禁止区域以外の安全な場所で行なってください。
- 適切な音量でお聞きください。運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度の音量でご使用ください。車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となることがあります。
- ワンセグの受信については、アンテナの位置が刻々と変わるため電波の強さが変わったり、障害物や電車、信号機などの影響により良好な受信状態を維持することが困難な場合があります。
- 万一異常が発生したときは、お買い求めの販売店へご相談ください。
- 表示用のディスプレイは、日差しの角度によっては反射光などで見えにくくなることがあります。
- 本機の近くで強力な電気的ノイズを発生する電装品を使用すると、画面が乱れたり、雑音が入る場合があります。このような場合は、原因と思われる電装品を遠ざけるか、ご使用をお控えください。
- 目的地(自宅)への案内は、道路の状況やナビゲーションシステムの精度により、不適切な案内をすることがあります。必ず、実際の交通規制に従って走行してください。
- 機器内部に水や異物を入れないでください。万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な臭いがするなど異常が起こったら、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に相談してください。そのまま使用すると事故、火災、感電の原因になります。
- 当該液晶ディスプレイパネルは蛍光管が組み込まれていますので、地方自治体の条例、または、規制にしたがって廃棄してください。
- お飲み物や、雨の日の傘などからの水滴で濡らさないでください。火災や感電の原因や内部回路の故障の原因となります。
- 寒冷時にエンジンスイッチをⅡ(ON)にした後、バックライトの特性上、光ムラが発生したり輝度が低下して画面が暗くなる場合があります。しばらくすると自然にもとの輝度に戻ります。
- 画面が映らない、音が出ない、変な臭いがするなどの状態で使用しないでください。そのまま使用し続けると、故障したり煙が出てくるなど、修理不能になるおそれがあります。このような時はただちに使用を止め、お買い求めの販売店にご相談ください。



- SDカード挿入口にコインなどの異物を差し込まないでください。
故障の原因となることがあります。
- 本機がぬれたり、本機の中に水が入ったりしないようにご注意ください。
火災や感電の原因となります。

- 長時間ご使用にならないときは、SDカードを取り出しておいてください。
(収納ケース等に保管してください。)長時間、本機内に入れておくと、高温等のためにSDカードを傷める原因となることがあります。



免責事項について

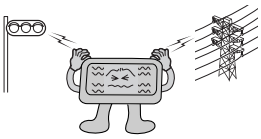
- 火災、地震、水害、落雷、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により故障または損傷した場合には有料修理となります。
- 本機の使用または使用不能から生じる損害(事業利益の損失、記憶内容の変化・消失など)につきましては、弊社は一切その責任を負いかねます。
- 添付の保証書は、本機を業務用の車両(タクシー・トラック・バス・商用車など)に使用した場合、適用対象にはなりません。
- 他人に譲渡または処分などされる際は、本機に入力した個人情報(登録地点の住所や電話番号など)の取り扱い、管理(消去など)は、必ずお客様の責任において消去してください。
- お客様または第三者が本機の使用を誤ったとき、静電気・電気的なノイズの影響を受けたとき、基本プログラムなどが消失・変化した場合、または故障・修理の時などに、本機に登録されていた情報(登録地点など)が変化・消失した場合、その内容の補償はできません。

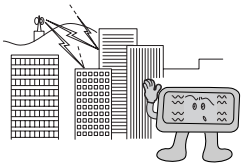
説明書に記載されている注意事項を守らないことによって生じる不具合に対しては、当社は責任を負いかねますのでご注意ください。正しく取り扱わなかった場合や常識を超えた使い方をされた場合などは保証の対象外となりますので正しくご使用ください。

使用上のご注意(3)

地上デジタル放送の番組受信について

- 地上デジタル放送では受信状態が悪くなると、映像にブロックノイズが出たり、音がとぎれたり、静止画面、黒画面となり音声が出なくなることがあります。
- 車で移動して受信するため、家庭用デジタルチューナーに比べて受信エリアが狭くなります。また、車の周辺の環境などにより受信状態が変化します。
- 本機の受信周波数帯域に妨害を与える電子機器や無線利用機器など(パソコンや携帯電話など)を車内で使用したり、本機に近づけると、映像・音声などに不具合が発生する場合があります。それらの機器の使用を中止するか、本機から離してご使用ください。
- 電車の架線、高圧線、ラジオ・テレビ放送の送信所、無線送信所、信号機、ネオンサインなどの放電機器の近くで受信すると、映像・音声が乱れたり雑音がはいる場合があります。
- 車の走行速度によっては映像・音声が乱れたり、受信できなくなる場合があります。また、停車中でも周囲の車の動き等により受信状態が悪くなり、映像・音声が乱れる場合があります。
- 電波の特性上、建物や山などが障害物となって受信状態が悪くなることがあります。
- トンネル内にはいったり、放送局から遠ざかると電波が微弱になり受信状態が悪くなります。
- 一部の地域において、テレビ、ラジオ等の送信アンテナ塔付近では、受信している周波数以外の電波の影響により、映像・音声に乱れが生じる場合があります。





- 固定受信や携帯受信(ワンセグ)などの放送方式、放送局により、受信状態やエリアが変化します。
- ワイパー、電動ミラー、エアコンのFANなどを動作させると受信感度が悪化する場合があります。

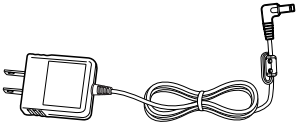
以下の点にご注意ください。

■本機はARIB(電波産業会)規格に基いた商品仕様になっております。将来規格変更があった場合は、商品仕様を変更する場合があります。

■各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

■本機に搭載されているソフトウェアまたはその一部につき、改変、翻訳、翻案、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルを行なったり、それに関与してはいけません。

別売品のご案内



約2m

● **AC-DC変換アダプター**
本機をご家庭で使用することができます。

本書の見かた

本書では、用途別に下記のマークを使用しています。
以下に各マークの意味を説明していますので、本書をお読みになる前によく理解しておいてください。

アドバイス	●お車や本機のために守っていただきたいこと。 守らないとお車や本機の破損につながるおそれや正規性能を確保できないことがあります。 ●本機を使ううえで知っておいていただきたいこと。 知っておくと本機を上手に使うことができ便利です。
お願い	お車のために守っていただきたいことを表しています。
	参照していただきたい本文のタイトル名やページ番号を表示しています。
電源	本体のパネル部のボタンを表します。
目的地	タッチパネル部のボタンを表します。
	画面上でタッチパネル操作を表します。
：	操作を行なった結果を説明します。
■／□	操作手順が次のステップで分かれるときの案内をします。

使用上の注意事項等

●本機の操作

・運転中の操作は避け、停車して行なってください。
・運転中に画面を注視しないでください。

●本機の取り付け

取り付けには専門技術と経験が必要です。
（走行中は、テレビ（ワンセグ）の映像表示や煩雑（複雑）な操作ができなくなったり、ヘッドホンから音声が出なくなります。配線の取り外し等不正な改造は絶対に行なわないでください。）

本機はあくまで走行の参考として地図や音声で案内するものですが、道路の状況や本機の精度により、不適切な案内をする場合があります。ルート案内時でも、走行中は必ず道路標識など実際の交通規制（一方通行など）にしたがって走行してください。

ナビを使いこなすヒント

ナビゲーションを便利に使いこなすためのヒントをご紹介します。

いろいろな条件で探索したい

1ルート探索／複数ルート探索をする‥P112～116

探索したルートをシミュレーションしてみたい

シミュレーション走行をする‥‥‥‥P130

よく行く場所にマークをつけて登録しよう

地点を登録する‥‥‥‥‥‥‥‥‥P63、64

走行した道を記録したい

軌跡を使う‥‥‥‥‥‥‥‥‥P148～151

ルート案内の音量を調整したい

音声案内の音量を調整する‥‥P198、199

北方向を上／進行先を上にして見やすい地図で表示したい

地図表示（方位）を切り替える‥‥P54、55

エコドライブ度を評価したい

エコドライブ情報を設定する‥P141～147

現在地（自車）の位置を変更したい

現在地（自車）マークの位置を変更する‥P195、196

パソコンに保存した情報を本機に保存／確認したい

パソコン連携（いつもドライブ）……P44
SDカードで地点を探す……P103、104
SDカードからルート探索をする‥P135、136
SDカードから地点を登録する‥P163、164

音楽を聞こう

音楽再生……P214～229

ワンセグを見よう

ワンセグを使う ……P230～261

画像を見よう

JPEG再生……P272～277

こんなにかんたん！ 行き先を決めよう

複雑そうなナビゲーションの操作、基本はそれほど難しくありません。ここでは、ジャンルから選んで、行き先を設定してみましょう。

1

メニュー ボタンをタッチします。

目的地 ボタンをタッチします。

2

ジャンル ボタンをタッチします。

7

ルート情報が表示されますので、**案内スタート** ボタンをタッチします。

8

ルート案内が始まります。

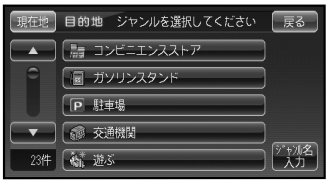
画面上のボタンを選ぶには?

画面のボタンを直接タッチして
選びます。

3

リストから“ジャンル”を選び、タッチします。

さらに細かく“ジャンル”のリストが表示された場合は種類を選びタッチします。



4

リストから“都道府県名”を選び、タッチします。

さらに“市区町村”のリストが表示された場合は、リストから選びタッチします。

*印:頭文字を連続でタッチすると選択している行のリストがくり返し表示されます。

5

リストから“施設”を選び、タッチします。

*印:頭文字を連続でタッチすると選択している行のリストがくり返し表示されます。

6

施設を中心とした地図が表示されますので、位置を確認して 目的地にする ボタンをタッチします。

※到着地点情報画面が表示された場合 はい ボタンをタッチして出入口情報などの情報を確認することができます。(115ページ アドバイス内)

ナビでドライブ!

ナビゲーションには、ドライブ中に役立つ便利な機能が満載です。

いろいろな方法で目的地を探そう

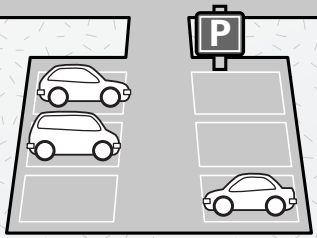
- 目的地を探す……P76～107
- 探索したルートを削除するには……P134
- ルート案内をやめる
  （ルート案内をストップするには）……P127

自宅を登録しよう

自宅を登録する ……P65～67

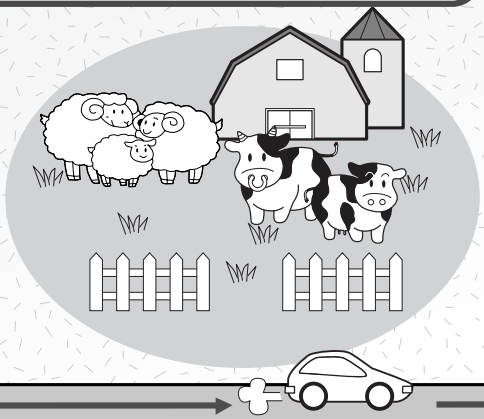
寄り道をしていこう

経由地を追加してルート案内をさせる
（経由地の追加） ……P119～122



見やすい地図にするには?

- 地図画面の見かた（画面の表示内容について）…P49、50
- 地図表示（方位）を切り替える……P54、55
- 地図を拡大／縮小する……P51
- 2画面表示にする……P72、73
- 地図を動かす（地図スクロール）……P56、57



わかりやすくナビゲーション

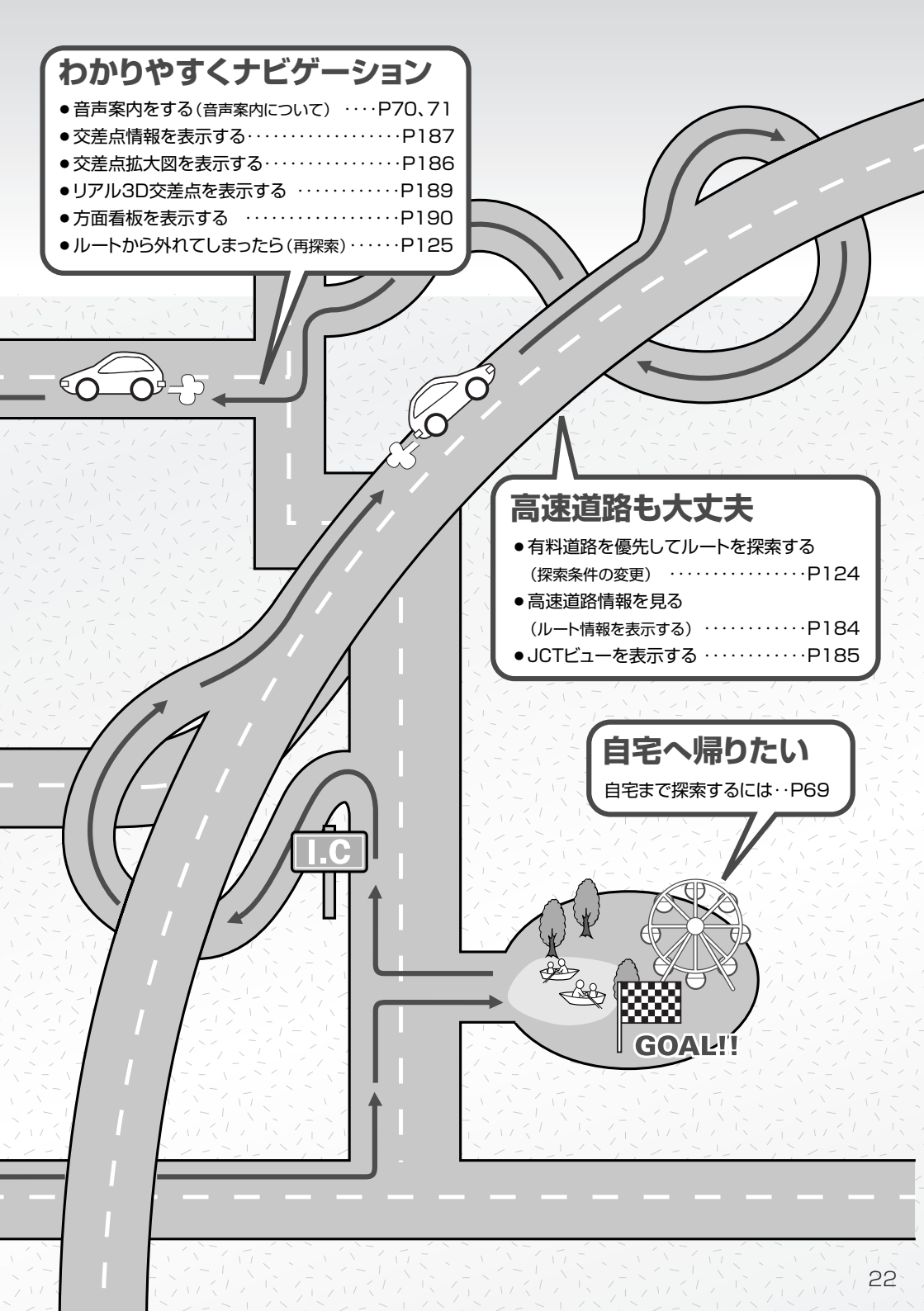
- 音声案内をする（音声案内について） ····P70、71
- 交差点情報を表示する·····P187
- 交差点拡大図を表示する·····P186
- リアル3D交差点を表示する ·····P189
- 方面看板を表示する ·····P190
- ルートから外れてしまったら（再探索）·····P125

高速道路も大丈夫

- 有料道路を優先してルートを探索する
  （探索条件の変更） ·····P124
- 高速道路情報を見る
  （ルート情報を表示する） ·····P184
- JCTビューを表示する ·····P185

自宅へ帰りたい

自宅まで探索するには··P69



目　次(1)

安全上のご注意 ……2〜8
使用上のご注意 ……9〜13
別売品のご案内 ……14
本書の見かた ……15
ナビを使いこなすヒント……16〜18
こんなにかんたん！行き先を決めよう …19、20
ナビでドライブ！ ……21、22
目次……23〜26

はじめに P28〜

主な特長 ……29〜32
ナビゲーションシステムとは ……33
本機のナビゲーションシステムについて ……33
GPSについて……33
GPS衛星の電波を受信するには …34、35
現在地の測位をするには ……34
現在地の測位ができない場所について ……34
受信するまでの時間について ……35
GPSアンテナ内蔵部について……35
電源について ……36、37
車のバッテリーで使うには ……36
家庭用電源で使うには ……36
内蔵電池で使うには ……36
操作や機能の制限について ……37
内蔵電池の充電について ……38、39
充電のしかた ……38
充電ランプ／電池マーク ……39
充電時間と使用可能時間 ……39
SDカードについて ……40、41
SDカードの取り扱いかた ……42
SDカードを入れる／取り出すには …43
パソコン連携(いつもドライブリンク)…44
パソコン連携(いつもドライブリンク)の流れについて ……44
各部の名称とはたらき ……45

ここだけ読んでも使えます P46〜

地図画面を表示する ……47、48
他のモードからNAVIモードに替えるには ……48
現在地表示について ……48
地図画面の見かた ……49、50
代表的な画面の表示内容について ……49、50
地図を拡大／縮小する ……51
地図の縮尺レベル ……52
現在地を表示するには ……53
表示された現在地が実際の現在地と違う場合は ……53
地図表示(方位)を切り替える …54、55
見たい地域を探す ……56〜58
地図を動かす(地図スクロール) …56、57
スクロールの微調整をする ……58
メニュー項目一覧 ……59、60
クイック機能について ……61
現在地表示時、地図スクロール時に メニュー ボタンをタッチした場合 …61
地図スクロール時に 設定 ボタンをタッチした場合 ……61
メニューの基本操作 ……62
地点を登録する ……63、64
登録地点について ……64
自宅を登録する ……65〜67
自宅の位置を変更するには ……67
クイック ルート探索をする ……68、69
現在地から目的地までのルートを探索する場合 ……68
現在地から自宅までのルートを探索する場合 ……69
音声案内について ……70、71
2画面表示にする……72、73
右画面の方位／縮尺スケールを変えるには ……73

目的地（ナビ操作） P74~

自宅周辺の地図を表示する ……75
地図から地点を探す ……76
住所で地点を探す ……77～80
電話番号で地点を探す ……81、82
個人宅の電話番号を入力した場合 …82
施設の名前で地点を探す[50音] …83～86
施設のジャンルから地点を探す ……87～89
ジャンル名を入力して探す場合 ……89
周辺にある施設から地点を探す ……90、91
表示できる施設 ……92～94
登録地点で地点を探す ……95、96
登録地点の並び替えをする ……96
目的地履歴の中から地点を探す／削除する ……97、98
郵便番号で地点を探す……99、100
地名から地点を探す[50音] …101、102
SDカードで地点を探す ……103、104
マップコードで地点を探す …105、106
緯度・経度で地点を探す ……107

ルート（ナビ操作） P108~

ルート設定について ……109～111
ルート探索について ……110
細街路探索について ……111
1ルート探索／複数ルート探索をする ……112～116
1ルート探索をする ……113～115
複数ルート探索をする ……115、116
ルートを変更する ……117～124
出発地の変更 ……117、118
目的地の変更 ……119
経由地の追加 ……119～122
経由地の変更／削除 ……123
経由地／目的地など地点の入れ替え …123
探索条件の変更 ……124
ルートから外れてしまったら（再探索） ……125
前方の道が通れない（迂回探索）……126
ルート案内をストップ／スタートする …127
現在のルートを表示する ……128、129
ルート詳細情報を表示するには …129
シミュレーション走行をする ……130
現在のルートを保存する ……131

ルート（ナビ操作）

登録ルート ……132、133
保存したルートの呼び出し ……132
保存したルートの削除 ……133
現在のルートを削除する ……134
SDカードからルートを探索する ……135、136
ルート探索機能の制限について（内蔵電池使用時） ……137

情報（ナビ操作） P138~

GPS情報を見る ……139
接続確認をする ……140
エコドライブ情報を設定する …141～147
評価履歴を見る ……143
評価履歴を削除するには …143、144
グラフ表示で見る ……144
評価履歴をSDカードに保存する ……145、146
軌跡を使う ……148～151
軌跡の記録を止めるには ……149
軌跡を表示するには ……149
軌跡の表示を止めるには ……150
記録した軌跡を確認するには ……150
軌跡を削除するには ……151
登録地点の編集／見る ……152～158
50音入力設定で 50音 ボタンを選択している場合 ……155、156
50音入力設定で ルーレット ボタンを選択している場合 ……156、157
登録地点の並び替えをする …159、160
登録地点の地図を呼び出す ……161
登録地点を削除する ……162
SDカードから地点を登録する…163、164
メンテナンス情報を設定する …165～168
メンテナンス情報のお知らせを止めるには ……167
メンテナンス情報の設定を消去するには ……168

目　次(2)

設定（ナビ操作） P170~

- 平均速度を設定する ……171
- ルート探索条件の設定をする …172、173
- メイン画面（地図）の設定を変える ……174、175
- 右画面地図表示の内容を設定する ……176、177
- 3Dの角度を調整する ……178、179
- 地図の色を変える ……180
- 基本表示の設定を変える ……181、182
  - 緯度・経度を表示について ……182
  - 道路名を表示について ……182
  - マップコードを表示について ……182
  - 登録地点を表示について ……182
- ルート案内画面の設定を変える ……183～192
  - 全ルート表示をする／しないにするには ……183
  - 設定ルートの色を選ぶ ……183
  - ルート情報を表示する／しないにするには ……184
  - 目的地方位を自車マークから直線で表示する／自車マークに丸印を表示する ……185
  - JCTビューを表示する／しないにするには ……185
  - 交差点拡大図を表示する／しないにするには ……186
  - 交差点情報を表示する／しないにするには ……187
  - ETCレーン表示する／しないにするには ……188
  - リアル3D交差点を表示する／しないにするには ……189
  - 方面看板を表示する／しないにするには ……190
  - 合流案内／踏み切り案内設定を変えるには ……191
  - 専用レーン案内の設定を変えるには ……192
- ランドマーク表示の設定をする ……193、194
  - マークの表示を止めるには ……194
- 現在地（自車）マークの位置を変更する ……195、196
- 現在地（自車）マークを変える ……197

設定（ナビ操作）

- 音声案内の音量を調整する …198、199
  - 音声案内を止めるには ……199
- ディマー設定で明るさを調整する ……200、201
- キー操作音の設定をする……202
- 50音入力設定をするには ……203
- 省電力設定をする ……204
- 設定をデフォルトするには ……205
- 案内割込設定をする ……206
- データを初期化（消去）する …207、208
- バージョン情報を見る ……209

オーディオ（共通） P210~

- NAVIモードから他のモードに替える ……211
- AVモードを終了する……212

音楽再生 P214~

- MP3／WMAについて……215～217
- M3U／WPLについて ……218、219
- 音楽を再生する ……220～229
  - 各部の名称とはたらき ……220、221
  - 音楽を聴く ……222
  - 再生を一時停止する ……223
  - 好きな曲を選ぶ（曲を戻す／進める）……223
  - 早戻し／早送りをする ……223
  - リストで選曲する ……224、225
  - リピート（繰り返し）再生をする …226
  - ランダム（順序不同）再生をする …226
  - スキャン（イントロ）再生をする …227
  - 音量を調整する ……227
  - 音声を一時的に消す ……227
  - 各種機能の設定をする ……228

ワンセグ P230~

- ワンセグを使う ……231～261
  - 「ワンセグ」について ……231
  - 「ワンセグ」の番組受信について …232
  - 「ワンセグ」の画像について ……233
  - テレビのアナログ放送からデジタル放送への移行についてお知らせ ……233

※本説明書の画像やイラストは操作を円滑にするためのイメージであり、撮影・印刷条件等により実物（実機）と印象が相違する場合がありますのでご了承ください。

※本書は仕様変更のため、予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

ワンセグ

各部の名称とはたらき ……234～237
基本的な操作のながれ ……237
電源を入れる ……238
ワンセグモードにする ……238、239
視聴エリア変更をする ……239、240
エリアスキャンをする ……241
チャンネルスキャン画面について ……242、243
選局する ……244
チャンネルリストを確認／選局する …245
音量を調整する ……246
音声を一時的に消す ……246
番組表を見る ……247、248
自宅チャンネルリスト／お好みチャンネルリストを呼び出す …249
データ放送を利用する ……250
音声や字幕を切り替える ……251
現在地変更確認設定／時計表示設定 ……252、253
受信可能な放送局（チャンネル）および受信レベルを確認する ……254、255
起動画面の設定をする ……256
放送用メモリを消去する …257、258
緊急警報放送を見る ……258
システムの設定をする ……259
録画する ……260
録画をやめるには ……261

録画再生 P262～

録画再生をする ……263～270
各部の名称とはたらき ……263、264
録画再生または消去する …265～268
各種機能の設定をする ……269
SDカードのすべての録画ファイルを消去する ……269
SDカードの初期化をする……270

画像再生 P272～

JPEG画像を見る ……273～277
各部の名称とはたらき ……273
画像を見る ……274
リスト画面から画像を選択する場合 ……275、276
各種機能の設定をする ……277

PC接続 P278～

PC（パソコン）と接続する …279、280
PC（パソコン）と接続する 279、280
PC（パソコン）との接続をやめるには ……280

その他 P282～

音声はそのままでNAVI画面を表示する ……283
音楽／音声の再生を止めてNAVI画面を表示する ……284
音声はそのままで画面を消すには …285
明るさ自動切替機能について ……285
明るさ自動切替機能を使うには …285
明るさ自動切替機能を働かなくするには ……285
リセット操作について ……286
ボタンの照明について ……286
内蔵電池のリサイクルについて ……287
個人情報の取り扱いについて ……287
地図に表示される記号 ……288
ルート案内時の注意点 ……289～292
出発地・経由地・目的地の設定について ……293、294
経由地、目的地の登録のポイント …293
経由地を使って上手にルートを作る…294
地図ソフトについて ……295～298
市街地図（12m／25mスケール）の収録エリア ……299～302
ワンセグデータ放送のライセンスについて ……303～312
チャンネル一覧 ……313、314
故障かな？と思ったら ……316～322
こんなメッセージが出たときは …323～326
初期設定一覧 ……327、328
デフォルト設定について ……328
角度を調整するには ……329
本体を取り付ける／取り外すには ……330
主な仕様 ……331

索引 P332～

索引 ……333～336

はじめに

主な特長 ……29〜32
ナビゲーションシステムとは……33
本機のナビゲーションシステムについて……33
GPSについて ……33
GPS衛星の電波を受信するには ……34、35
現在地の測位をするには……34
現在地の測位ができない場所について……34
受信するまでの時間について……35
GPSアンテナ内蔵部について ……35
電源について ……36、37
車のバッテリーで使うには……36
家庭用電源で使うには……36
内蔵電池で使うには……36
操作や機能の制限について……37
内蔵電池の充電について ……38、39
充電のしかた……38
充電ランプ／電池マーク……39
充電時間と使用可能時間……39
SDカードについて……40、41
SDカードの取り扱いかた ……42
SDカードを入れる／取り出すには ……43
パソコン連携（いつもドライブリンク）……44
パソコン連携（いつもドライブリンク）の流れについて 44
各部の名称とはたらき……45

主な特長(1)

ナビゲーション

タッチパネル

画面をタッチすることでナビゲーションを操作することができます。

目的地を選ぶだけで行き方を表示

目的地を指定すると、探索されたルートを表示して案内します。目的地は地図上で直接指定したり、施設の名前や種類から絞り込んで探すこともできます。

「現在地から目的地までのルートを探索する場合」68ページ

また、あらかじめ自宅を登録しておくと、現在地から自宅までのルートを表示して案内します。

「自宅を登録する」65～67ページ

「現在地から自宅までのルートを探索する場合」69ページ

電話番号や住所から目的地を検索

電話番号または住所を入力して、本ソフトに収録されているデータから目的地を探すことができます。電話番号は、NTTタウンページの情報の一部(約1,000万件)および(株)ダイケイのテレデータ(個人宅情報　約3,000万件)が収録されています。住所は、約3,500万件収録されています。

※タウンページは東日本電信電話株式会社・西日本電信電話株式会社の登録商標です。
※個人宅の場合は、電話番号登録者の名字の入力が必要です。

「電話番号で地点を探す」81、82ページ／「住所で地点を探す」77～80ページ

ハイブリッド検索

施設50音で「50音順」「距離順」に並び替えたり、「地域」「ジャンル」のキーワードで施設を絞り込んで探すことができます。

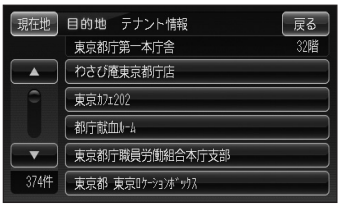
「施設の名前で地点を探す[50音]」83～86ページ

ビルの中の店舗を探す(テナント情報)

市街地図(詳12m／詳25m)から、ビルの中のテナント情報を確認することができます。

施設(物件)にカーソル(−┼−)を合わせると、地図画面上にビル名が表示されます。**設定**ボタンをタッチし、設定メニューを表示させ、**テナント情報**ボタンをタッチするとテナント情報を見ることができます。

「クイック機能について」61ページ



※●データが収録されていない施設(物件)はカーソルを合わせても名称は表示されません。
　●ビル名のみ収録されている場合はテナント詳細情報を見ることはできません。

ナビゲーション

パソコン連携（いつもドライブリンク）

パソコン上から指定Webサイト（いつもドライブ）にアクセスしてSDカードへ地点やルートを保存することができます。SDカードに保存した地点は本機で確認したり、登録することができます。またSDカードに保存したルートを本機で再探索することができます。

「パソコン連携（いつもドライブリンク）」44ページ
「SDカードで地点を探す」103、104ページ
「SDカードからルート探索をする」135、136ページ
「SDカードから地点を登録する」163、164ページ

目的地到着までのルートを表示してくれる

目的地に着くまでルート表示（細街路探索）

細街路（主要市区町村道路）を含めたルートの探索を行ないます。探索されたルートは、細街路では黄色で表示されます。

的確でわかりやすく、音声で案内（音声案内）

高速道路の出入口、路線名、JCTなどを音声で案内します。

高速道路のJCTを拡大表示する（JCTビュー）

高速道路の主要分岐ポイントや、JCT、ランプの出口に近づくと、立体的な拡大図を表示してルートを案内します。

「ルート案内画面の設定を変える」185ページ

※分岐ポイント等までの残距離の目安を表します。

行き方の候補を5種類表示（複数ルート探索）

目的地までのルートを、違った条件で探索して表示します。
推奨ルートを探索する場合、有料道路を優先する場合、一般道路を優先する場合、距離を優先する場合、道幅を優先する場合の5種類の条件で一度に探索します。

「（複数ルートを探索する）」115、116ページ

進行方向の車線区分を案内する（レーンガイド）

案内する交差点に近づいたとき、曲がる方向のレーンを表示させることができます。

※“交差点拡大図を表示”を“する”に選択している場合にレーンガイド機能が働きます。

「ルート案内画面の設定を変える」186ページ

※バーの長さが短くなることによって交差点までの残距離の目安を表します。

主な特長(2)

ナビゲーション

曲がる方向を常に表示（交差点情報）

走行中に次の交差点で曲がる方向を画面上に常に表示させることができます。

「ルート案内画面の設定を変える」187ページ

案内標識を表示（方面看板）

ルート案内時、国道をはじめとした一般道の行き先や方向を示す案内標識(看板)を表示させることができます。(全国の主要交差点)

「ルート案内画面の設定を変える」190ページ

※すべての交差点において収録されているわけではありません。

リアル3D交差点を表示

ルート案内時、交差点を立体的(リアルデザイン)で案内します。

「ルート案内画面の設定を変える」189ページ

※札幌市、仙台市、さいたま市、千葉市、東京23区、横浜市、川崎市、新潟市、静岡市、浜松市、名古屋市、京都市、大阪市、堺市、神戸市、広島市、北九州市、福岡市の一部交差点でリアル3D交差点(立体的デザイン)を表示します。

一方通行規制箇所がわかる

縮尺スケールが市街地図(詳12m／詳25m)のとき、一方通行の規制を道路上に表示します。

町並みをリアルに表示してくれる

遠くまで見渡せる視点で立体的に表示

上空より進行方向前方を見下ろす角度で、現在位置周辺を表示(3Dビュー)します。

「地図表示(方位)を切り替える」54、55ページ

住所エリアを色分けした地図表示

都道府県や市区町村などの境ごとに色分けして表示します。

ワンセグ

地上デジタル放送(ワンセグ)

地上デジタル放送の携帯・移動体向けサービス「ワンセグ」を見ることができます。
映像や音声によるテレビ放送のほかに、便利な情報をお知らせするデータ放送や緊急警報放送も受信することができます。

「データ放送を利用する」250ページ
「緊急警報放送を見る」258ページ

番組表表示

各放送局のテレビ番組表を表示することができます。

ワンセグ

自宅エリアチャンネル設定呼出機能

ご自宅周辺など地上デジタル放送(ワンセグ)をよく見られる地域のチャンネルリストを自宅チャンネルリストに登録しておくと、旅行先などで新たに視聴エリア変更をしても、ご自宅に帰ったときに、**自宅呼出**ボタンでご自宅周辺のチャンネル設定に切り替えることができます。

「チャンネルスキャン画面について」242、243ページ
「自宅チャンネルリスト／お好みチャンネルリストを呼び出す」249ページ

音声字幕機能

音声の種類や字幕を表示するように設定することができます。

「音声や字幕を切り替える」251ページ

※音声の設定は複数音声放送と二重音声放送の場合に有効です。
※字幕の設定は字幕がある番組の場合に有効です。

ワンセグ録画／再生機能

本機を使用してSDカードに番組を録画し、再生することができます。

録画する 260ページ、「録画再生」263～270ページ

音楽再生

パソコンなどからSDカードに保存した音楽を再生し、聴くことができます。

「音楽再生」215～229ページ

画像再生

パソコンなどからSDカードに保存したJPEG画像を見ることができます。

「画像再生」272～277ページ

その他

エコドライブ

GPSの信号をもとに、運転中の加速、減速、速度、アイドリング時間を計算し、「急加減速」、「長すぎるアイドリング」などを検知すると音声とメッセージ表示でお知らせします。また、計算データを5段階評価したり、グラフで表示することもできます。

「エコドライブ情報を設定する」141～147ページ

3電源方式

電源は、車<12V車>のバッテリー、家庭用電源<AC100V、50Hz／60Hz>、内蔵電池を使うことができます。36、37ページ
※家庭用電源を使う場合は、別売のAC-DC変換アダプターを使用します。

GPSアンテナ内蔵
ワンセグ用アンテナ内蔵

本機に内蔵されているワンセグ用アンテナで、ワンセグ放送を受信できます。

ヘッドホン(出力)端子付

市販のヘッドホンで音声を聞くことができます。
※走行中はヘッドホンから音声はでません。

TFTカラー液晶ディスプレイ

高画質液晶を使用しているので、映像が見やすく、きれいです。

ナビゲーションシステムとは

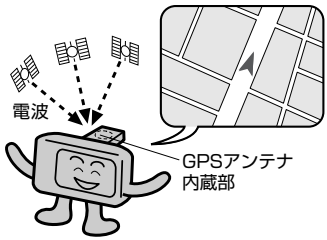
本機のナビゲーションシステムについて

本機はGPS衛星からの電波を受信して現在地を測位し、地図上に、現在地、目的地、目的地までの距離や方向、探索されたルートなどを表示し、目的地まで道案内をします。

GPS(Global Positioning System)について

GPSとは

GPSとは、米国国防総省が開発、運用している全地球測位システムのことで、地上約21,000kmの宇宙空間に浮かぶNAVSTAR(GPS衛星)からの電波を同時に三つ以上受信し、衛星と自車までの距離と、衛星の軌道をもとに、三角測量の原理で自車の現在地を割り出します。



アドバイス

GPS衛星は、米国の追跡管理センターによって信号をコントロールされているため、意図的に精度が落ちたり、電波が止まってしまうことがあります。

測位の精度

現在地表示画面左中央のGPS受信表示の文字の色で、現在の測位の精度を知ることができます。

緑色：現在地の測位ができている。

灰色：現在地の測位ができていない、または測位計算中。

GPSの受信状態

アドバイス

- GPS衛星からの電波を受信していても、測位に時間がかかる場合があり、電源を入れてから約3〜4分間は、GPS受信表示の色は灰色のままで精度表示を行なわないことがあります。
- 本機は、GPS衛星から測位に使用できる電波を受信すると、地図上に現在地を表示します。しかし、約30m〜200m程度の誤差があるため、実際の位置と地図に表示されている現在地の位置が一致しないことがあります。また、GPS衛星は米国国防総省によって管理されていますので、意図的に測定用電波のデータが変更されることがあり、このときは現在地表示の誤差も大きくなります。こうした誤差を補正するために本機ではマップマッチング機能*を備えています。

  *：GPS衛星による測位には誤差が生じることがあるため現在地が道路以外(例えば川の中)になることがあります。このようなとき「車は道路上を走るもの」と考え、現在地を近くの道路上に修正する機能のことです。

■現在地の誤差について

現在地(自車)マークの現在地や進行方向は、以下のような条件によって正確な位置方向を示さないことがあります。故障ではありませんのでしばらく走行を続けると正常な表示に戻ります。

- 車を後進
- 連続した高架下
- 長いトンネル
- 蛇行運転
- 急激な速度変化(料金所を出た直後のトンネル内へ加速進入時など)
- ループ橋
- 初めての使用
- フェリーなどで移動後使用

GPS衛星の電波を受信するには(1)

本機は、GPSを利用したナビゲーションです。GPS衛星の電波が受信できない場所では、現在地の測位ができません。
GPS衛星の電波は、本機のGPSアンテナ内蔵部(☞35ページ)で受信します。

現在地の測位をするには

本機を取り付け後、GPS衛星電波を受信してください。現在地の測位に使用できる電波を受信すると、現在地表示画面左上のGPS受信表示の文字の色が緑色になり、実際の現在地を表示します。

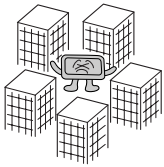
※GPS受信表示の文字の色が灰色のときは、最後に測位した現在地を表示しています。
お買い上げ後、一度も現在地の測位ができていない場合は、本田技研工業(株)本社付近を表示します。
特に建物の中ではGPS衛星の電波は受信できません。現在地を測位したい場合は、電波が入りやすい場所へ移動し、電波を受信してください。

現在地の測位ができない場所について

本機とGPS衛星との間に障害物があると、電波が受信しにくくなり、現在地の測位ができません。
現在地の測位に適した場所は、屋外の、電波をさえぎる障害物のない、見晴らしの良い場所です。
次のような場所では、GPS衛星からの電波が受信しにくいため、移動してください。

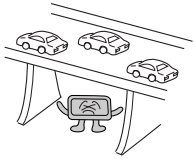
- トンネルの中

- 高層ビルに囲まれたところ



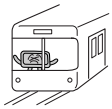
- 樹木の密集したところ

- 高速道路の下など



- 建物の中

- 自動車以外の乗り物の中



※同じ場所でも、次のような理由でGPS衛星の受信数が変動します。
- GPS衛星は地球の周りを移動する周回衛星であり、時間によって位置が変わるため。
- GPS衛星の受信は、GPS衛星の周波数に近似した他の電波の影響を受けるため。
- 車内でご使用の電子機器(アマチュア無線機、レーダー探知機、ドライブレコーダー、ETC、本機以外のナビゲーションシステム等)の妨害、または一部の車種に使用されている断熱ガラス、熱遮断フィルム等により電波がさえぎられ受信感度が悪化したり受信しなくなることがあるため。

GPS衛星の電波を受信するには(2)

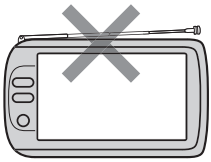
受信するまでの時間について

必ず見晴らしのよい場所で行なってください。
GPS衛星から測位に使用できる電波を受信すると、現在地表示画面左中央のGPS受信表示の文字の色が緑色になり、実際の現在地を表示します。
本機をお買い上げ後、初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、実際の現在地を表示するまでに15～20分程度かかることがあります。（これはGPS衛星から送られる衛星の軌道データが12分30秒に1回送られているため、このデータの取り込みに時間がかかるためです。**現在地を表示するまでは移動しないでください。**）通常は電源を入れてから数分で表示します。

GPSアンテナ内蔵部について

本機を取り付け後は、以下のことをお守りください。

- **GPSアンテナ内蔵部上にペンキなどを塗ったり、シールや紙などを貼ったりしないでください。受信感度が低下したり、GPS衛星の電波を受信できなくなることがあります。**
- **GPSアンテナ内蔵部の分解・改造などをしないでください。受信感度が低下したり、故障の原因となります。**
- **GPSアンテナ内蔵部上にワンセグ用アンテナを近づけないようにしてください。受信感度が低下したり、GPS衛星の電波を受信できなくなることがあります。**
- **動作中の他の電気製品(テレビ、ラジオ、パソコンなど)をGPSアンテナ内蔵部に近づけないでください。受信感度が低下することがあります。**



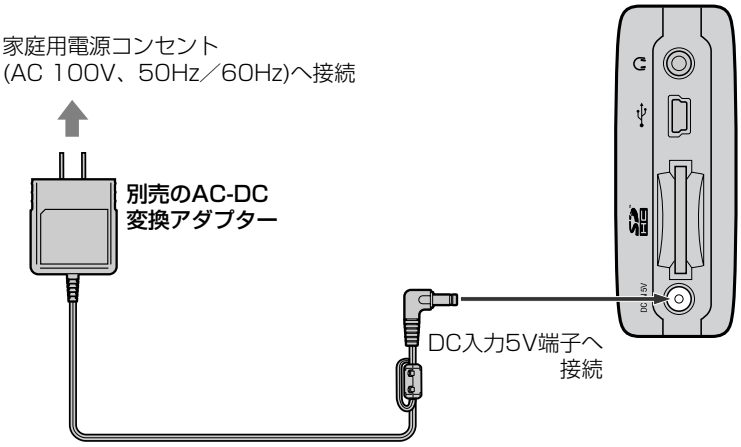
電源について(1)

車のバッテリーで使うには

330ページの「本体を取り付ける／取り外すには」にしたがって取付、接続してください。

家庭用電源(AC 100V、50Hz/60Hz)で使うには

※別売のAC-DC変換アダプターが必要です。
「別売品のご案内」14ページ



内蔵電池で使うには

本機を車のバッテリーまたは別売のAC-DC変換アダプターを接続していない状態で電源ボタン(⏻)を長押しして電源を入れる。
本機を車のバッテリーまたは別売のAC-DC変換アダプターでご使用中に、車のキースイッチを「0」(OFF)にする／本機から電源プラグを外す／コンセントから外しても**自動的に内蔵電池には切り替わりません。内蔵電池で動作させるには、いったん本機の電源ボタン(⏻)を長押しして切り、再度電源を入れてください。**

アドバイス

内蔵電池の残量が少ないと、電源が入らない場合があります。この場合は内蔵電池を充電してください。「充電のしかた」38ページ

お願い

内蔵電池保護のため、本機の内部温度が高温(60℃以上)になると電源が入らない場合がありますが、故障ではありません。正常温度に戻ってから再度電源を入れなおしてください。

電源について(2)

操作や機能の制限について

電源の種類(“車のバッテリー” “別売のAC-DC変換アダプター” “内蔵電池”)やパーキングブレーキ状態によって、下の表のように操作や機能が制限されます。

電源の種類		車のバッテリー		別売のAC-DC変換アダプター	内蔵電池
パーキングブレーキ状態		OFF※1	ON※1	——	——
操作規制		×	○	○	○
音声案内／再探索		○	○	×	×
マップマッチング		○	○	×	×
エコドライブ評価※2		○	○	×	×
音楽再生		△	○	○	○
画像再生		×	○	○	○
PC接続		×	○	○	×
ワンセグ	映　像	×	○	○	○
	音　声	○	○	○	○
	録　画	○※3	○	○	○
	再　生	×※3	○	○	○
ヘッドホン(音声出力)※4		×	○	○	○

○：制限なし　△：一部制限あり　×：制限あり

※1：車のパーキングブレーキをかけている場合は“ON”の状態です。車のパーキングブレーキをかけていない場合は“OFF”の状態です。
「接続確認をする」140ページ

※2：GPSが受信されていない場合は評価することができません。
「エコドライブ情報を設定する」141～147ページ

※3：走行中は音声のみになります。

※4：ヘッドホン(市販)接続時です。

アドバイス

ヘッドホン接続時、走行中は音声は出ません。ヘッドホンをご使用の場合は、車のパーキングブレーキをかけた状態でご使用ください。

内蔵電池の充電について(1)

充電のしかた

本機をはじめてお使いになるときや、電池残量が少なくなりましたら、車のバッテリーまたは別売のAC-DC変換アダプターで内蔵電池を充電してください。

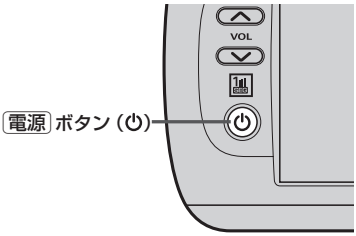
※充電するときは本機の[電源]ボタン(⏻)を長押しして切ってください。満充電できない場合があります。

■車内で充電するには

本体をクレイドル*に正しくセットしてください。

☞「本体を取り付ける／取り外すには」330ページ

：正しくセットされますと、車のエンジンスイッチをⅡ(ON)したときに[電源]ボタン(⏻)が緑色に点灯します。

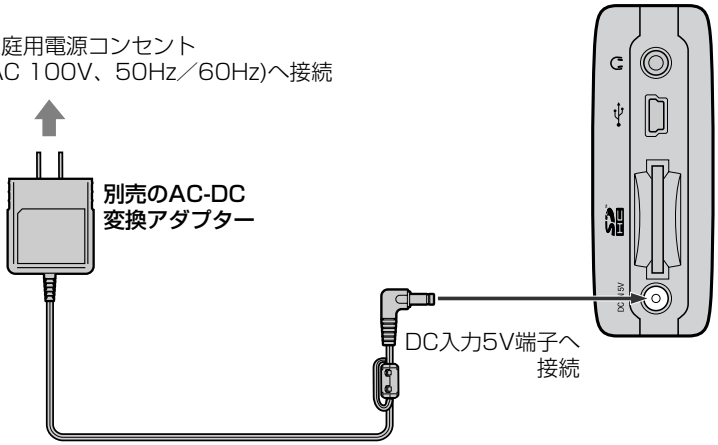


＊印…“**クレイドル**”とは、本体を車で使用するための取付具です。

■屋内で充電するには

※別売のAC-DC変換アダプターが必要です。

☞「別売品のご案内」14ページ



お願い

充電が終わったら、別売のAC-DC変換アダプターをコンセントから外してください。

内蔵電池の充電について(2)

充電マーク／電池マーク

■充電マーク

※電源を切って充電している場合は、充電中は本体の[電源]ボタン(⏻)が点灯し、充電が終わると消灯します。

■電池マーク

内蔵電池使用時の表示

充電時間と使用可能時間

(下記の時間はあくまでも目安です。数値を保証するものではありません。)

充電時間	約3時間20分	本機の電源を切った状態で、空の内蔵電池を充電した場合
使用可能時間	約3時間30分	本機を連続して使用した場合(音量／画面の明るさを中間にした場合)

アドバイス

- 使用中に電池の残量が少なくなると電池マークが□になり、画面に“電池の残量がわずかです。充電して下さい。”とメッセージが表示されるので OK ボタンをタッチし、充電してください。
- 実際の使用可能時間は、充電状態、気温、音量の大きさ、画面の明るさなどの使用条件によって変わります。
- 極端に寒い場所や暑い場所では充電できません。充電は必ず0～40℃の温度範囲で行なってください。
- 車内で充電する場合は、車内温度により充電できない場合があります。
- 充電中や使用中は内蔵電池があたたかくなりますが、異常ではありません。
- 内蔵電池は消耗品のため、劣化による修理交換は保証期間内であっても保証対象外となりますので、あらかじめご了承ください。
- 累積の使用時間により内蔵電池は少しずつ劣化します。そのため使用可能時間が短くなったり、充電時間が長くなったりすることがあります。内蔵電池の交換は、お買い求めの販売店にご相談ください。お客様個人で内蔵電池の交換を行なわないでください。

「内蔵電池のリサイクルについて」287ページ

SDカードについて(1)

※本書では、“SDメモリーカード・SDHCメモリーカード”を“SDカード”と記載しております。

SDカードの抜き差しは、必ず電源を切った状態で行なってください。

■SDロゴは商標です。

■SDHCロゴは商標です。

■お客様が録音・録画したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。著作権の対象になっている画像やデータの記録された“SDカード”は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用いただけませんので、ご注意ください。

■32GBまでの容量の“SDカード”に対応しています。

■本機にはSDカードは付属しておりません。
※規格に準じた市販品をお買い求めください。「SDカード動作確認品」41ページ

■フォーマット(初期化)について
- SDカードのフォーマット(初期化)は、本機で行なってください。
  パソコンでのフォーマット(初期化)はSDカードの性能が十分に出せなくなる場合や正しく動作しない場合があります。また、SDHCメモリーカード以外のSDカードを本機以外の機器からFAT32でフォーマット(初期化)すると、本機では認識できず、フォーマット(初期化)もできなくなる場合があります。その場合は、パソコンで一度FAT16でフォーマット(初期化)した後、本機でフォーマット(初期化)をお願いします。
  「SDカードの初期化をする」270ページ

■miniSDカード／microSDカードを使用する場合は必ずminiSDカードアダプター／microSDカードアダプターを使用し、正しい挿入方向をご確認ください。アダプターが装着されていない状態で本機に差し込むと、機器に不具合が生じることがあります。また、miniSDカード／microSDカードが取り出せなくなる可能性があります。必ずアダプターごと抜き差しし、本機にアダプターだけ残さないようにしてください。

■miniSDカード／microSDカードをminiSDカードアダプター／microSDカードアダプターでご使用の際は正常に動作しない場合があります。

■microSDカードをminiSDカードアダプターに装着し、更にSDカードアダプターに装着して使用しないでください。

■SDカード挿入口に異物を入れないでください。SDカードを破損する原因になります。

■SDカードへのデータ書き込み中やSDカードのデータ読み込み中は抜かないでください。また、書き込み中に車のエンジンスイッチを 0 (OFF)にしないでください。データが破損する恐れがあります。破損した場合、補償できませんのでご容赦ください。

■静電気や電気的ノイズを受けたり暖房器具の熱が直接あたる恐れのある場所に、SDカードを放置しないでください。データが破壊される恐れがあります。

■本機内部を保護するため、異常が生じたときは自動的に本機の機能が止まります。
画面に出たメッセージにしたがって操作しても動かないときは、故障の恐れがありますのでお買い上げの販売店にご相談ください。

■長時間ご使用になったあと、SDカードがあたたかくなっている場合がありますが故障ではありません。

■SDカードには寿命があります。長期間使用すると読み書きや消去ができなくなる場合があります。

■SDカードが不良の場合、正常に動作しません。

SDカードについて(2)

■SDカードに誤消去防止スイッチ(LOCK)が付いている場合、「LOCK」にしていると書き込み、初期化(フォーマット)できません。「LOCK」を解除してください。

■SDカードの最適化は行わないでください。

■SDカード内のデータは圧縮しないでください。

■本機はSDカードを使用して下記機能を使用することができます。

- NAVIモードでは指定Webサイトからダウンロードした地点を確認したり、保存したルートを本機で読み出し、ルート探索することができます。また、SDカードに保存した地点を本機に登録することもできます。
  AVモードでは、音楽を聴いたりワンセグ録画や録画再生／JPEG画像を見ることができます。
  NAVIモード 103、104、135，136，163，164ページ
  AVモード 214～229、260～270、272～277ページ

SDカード動作確認品

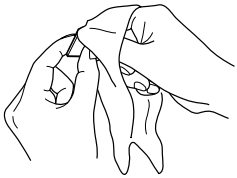
平成21年4月現在

メーカー	シリーズ名	容　量
Panasonic	PRO HIGH SPEED	32GB
		16GB
		8GB
		4GB
		2GB
		1GB
		512MB
	HIGH SPEED	16GB
		12GB
		8GB
		6GB
		4GB
		2GB
		1GB
TOSHIBA	Ultra High Speed	4GB
		2GB
	High Speed	32GB
		16GB
		8GB
		4GB
		2GB
	Standard	8GB
		4GB
		2GB
		1GB

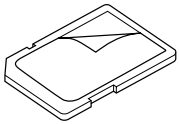
メーカー	シリーズ名	容　量
SanDisk	Extreme Ⅲ 30MB/s Edition	8GB
		4GB
	Extreme Ⅲ	8GB
		4GB
		2GB
	Ultra Ⅱ	16GB
		8GB
		4GB
		2GB
	Standard	8GB
		4GB
		2GB
		1GB

SDカードの取り扱いかた

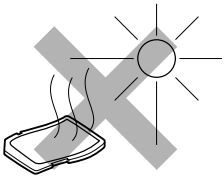
● 定期的にカートリッジの表面についたホコリやゴミなどを乾いた布で拭き取ってください。



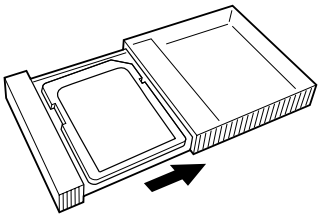
● ラベルがはがれていたり、ネームテープ（ラベル）が貼ってあるSDカードは使用しないでください。



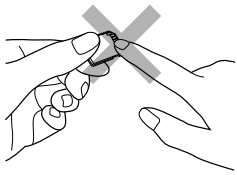
● 直射日光や湿気の多いところをさけて保管してください。
SDカードが使用できなくなる場合があります。



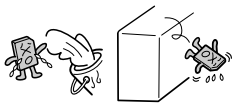
● 持ち運びや保管の際は、必ず収納ケースに入れてください。
※収納ケースは一例です。



● 端子部には、手や金属が触れないようにしてください。



● 強い衝撃を与える、曲げる、落とす、水に濡らすなどはしないでください。

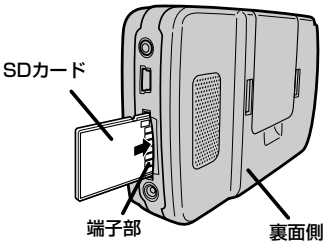


SDカードを入れる／取り出すには

SDカードの抜き差しは、必ず電源を切った状態で行なってください。

1 SDカード挿入口にSDカードを差し込む。

※SDカードの端子部を裏面側に向けて、矢印の方向に“カチッ”と音がするまで挿入してください。



SDカードを取り出すには

1. 電源ボタン(⏻)を約1秒押して電源を切る。
※本機の電源が切れている場合は下記手順2へ進んでください。

2. SDカードを1回押してから取り出します。

お願い

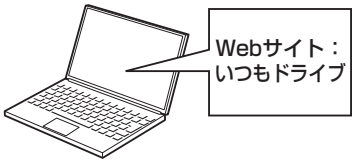
- 長時間ご使用になった後、SDカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- SDカードには寿命があるため、長期間使用すると、読み書きや消去などができなくなる場合があります。
- miniSDカード／microSDカードを使用する場合は、必ずminiSDカードアダプター／microSDカードアダプターを使用し、正しい差し込み方向をご確認ください。アダプターが装着されていない状態で本機に差し込むと、機器に不具合が生じることがあります。また、miniSDカード／microSDカードが取り出せなくなる可能性があります。必ずアダプターごと抜き差しし、本機にアダプターだけ残さないようにしてください。

パソコン連携(いつもドライブリンク)

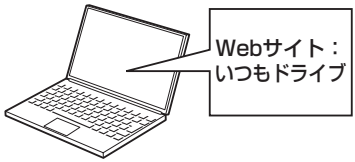
パソコンで指定のWebサイト(いつもドライブ)を利用して地点情報やルート探索した結果をSDカードに保存すると、本機で確認またはルートを再探索したり、本機に地点を保存することができます。いつもドライブを利用するには、ユーザー登録を行なう必要があります。ユーザー登録の方法は別紙「いつもドライブリンク」をご覧ください。

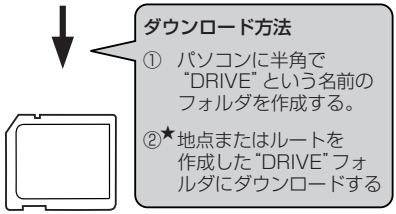
パソコン連携(いつもドライブリンク)の流れについて

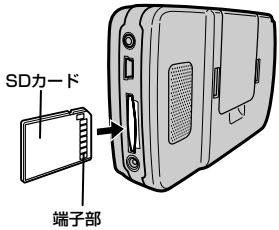
1. 指定のWebサイトにアクセスし、ユーザー登録する。



2.★ サイト上で地点を選択したりルート探索をする。







3. パソコンのSDカードリーダーにSDカードを差し込み、"DRIVE"フォルダごとSDカードに移動(ドラッグ アンド ドロップ)する。
※パソコンにSDカードリーダーがない場合は、PC接続（279、280ページ）を利用してSDカードへデータを書き込むこともできます。

4. SDカードを本機に差し込み、情報を確認または保存する。

「SDカードで地点を探す」103、104ページ
「SDカードからルートを探索する」135、136ページ
「SDカードから地点を登録する」163、164ページ

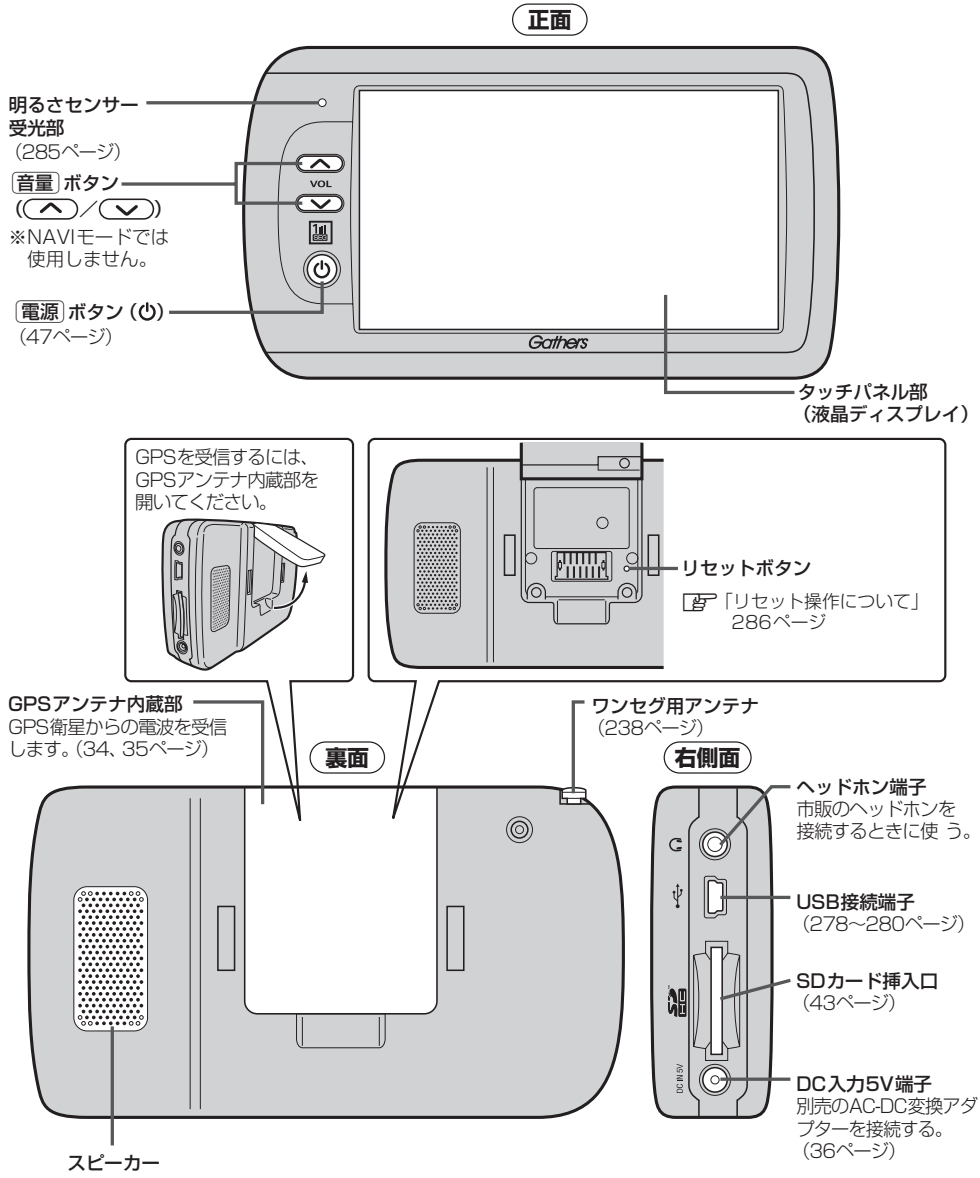
アドバイス

- SDカードを使用する前に「SDカードについて」40、41ページをご覧ください。
- SDカードに保存しているルートを本機で確認する場合、本機に設定している探索条件をもとにルート探索を行なうため、いつもドライブ上でのルート探索結果と異なります。
  「SDカードからルート探索をする」135、136ページ
  「ルート探索条件の設定をする」172、173ページ
- いつもドライブで出発地を本機と異なる位置に変更し、ルートをSDカードに保存しても本機でルート探索する場合は、出発地が現在地のままとなります。(いつもドライブで指定した出発地にはなりません。)
- 音楽を聴く／ワンセグを見る／録画番組を見る／画像を見るモードを選択している場合、SDカードで地点を探す／SDカードからルート探索をする／SDカードから地点を登録するの操作はできません。AVモードを終了（AVオフ）してから操作してください。
  「AVモードを終了する」212ページ
- ★印：詳しい操作方法は、いつもドライブ Webサイトの「ヘルプ」をご覧ください。

各部の名称とはたらき

本機はパネルに配置しているボタン(操作説明では“○○ボタンを押す”と説明しています。)と、画面に表示されるタッチボタン(“○○ボタンをタッチする”と説明しています。)を直接タッチして操作します。

本　体(パネル部)



※本体(タッチパネル部)のメニュー項目(ナビゲーション操作)は「メニュー項目一覧」59、60ページを参照してください。